

# 国際コース 2 年、小島<sup>ふとお</sup>二十君

## 囲碁と英語の二刀流



第 47 回文部科学大臣杯全国高校囲碁部選手権大会（日本棋院、文部科学省主催）が 26 日、東京都千代田区の日本棋院開かれ、大分東明高校 2 年の小島二十（ふとお）君（16）が優勝を果たした。大分県代表として全国の高校生を相手に奮闘し、個人戦で初めての優勝トロフィーを大分に持ち帰った。

「国際コースの友達や先生方が、いつも仲良くしてくれているので、囲碁に集中することができます。その結果、負けだと思った試合も普段の実力以上を発揮できました」と振り返る

彼にとって国際コースは特別であり、癒しや温かみを感じている様子。  
また、英語面でも活躍している。

囲碁の経験を活かし、令和 5 年度全国商業高等学校英語スピーチコンテスト大分県大会では、3 分 30 秒のスピーチを感情を込めて読んだ結果、準優勝を収めた。

「囲碁だけではなく、ジョナサン先生が英語のスピーチコンテストを勧めてくれて、新しいことに挑戦する力がつきました」と力強く語ってくれた。